

大学院入学試験問題用紙

2023 年度 1 期

科 目 名	受 験 専 攻	受 験 番 号	氏 名
造園計画・設計学	造園学専攻 博士前期課程		
1. 地理空間情報技術を自分自身の研究に対して活用することを検討し、利用する技術の名称およびその具体的な方法について述べよ。 2. 橘俊綱の『作庭記』（前栽秘抄）と Humphry Repton の「Red book」（『Observations on the Theory and Practice of Landscape Gardening』などは Red book をもとにつくられた著書）の特徴と意義について「造園計画学」の観点から述べなさい。 3. 「風景計画」の定義を示し、風景管理(景観マネジメント)を実施する上での留意点を 2 つ以上あげなさい。			

大学院入学試験問題用紙

2023 年度 1 期

科 目 名	受 験 専 攻	受 験 番 号	氏 名
造園施設材料・施工学	造園学 専攻 博士前期 課程		

以下の6つの問題から2つを選択し、それぞれを400字～500字で述べなさい。論述にあたっては裏面を使用し、問題番号についても記載すること。

1. 庭石といった重量物を人力により運搬する際に使用される道具を列挙しつつ、作業の工程や方法について述べなさい。

2. 造園空間に池を作るためには、水を溜める池底の構造が重要である。そこで、あなたが知る池底部の構造をひとつ取り上げ、使用材料と施工方法について説明し、他の工法（ひとつでも複数の工法でも可）と比較した場合の長所と短所について述べなさい。

3. 欧米では、公園のプレイエリアにおけるインクルーシブ遊具の設置が盛んにおこなわれ、近年ではわが国の公園でも導入されはじめている。インクルーシブ遊具とは何かを説明しつつ、公園利用を豊かにしてゆくための意義や長所について述べなさい。

4. 伝統的な工法で作られた日本庭園の池泉は、経年変化によって護岸石の裏側の土が流出して空洞が形成され、護岸石組の緩みや崩壊が発生するなどの問題が生じている。なぜ、このような現象が生じているのか、考えられる要因を説明しなさい。

5. 近年では、ICT（情報通信技術）の活用による都市公園の利用情報の収集、国土交通省が推進する i-Construction など、造園空間の調査、計画、設計、施工、管理、運営の各段階に DX（デジタルトランスフォーメーション）を導入しようとする事例が増えつつある。このことをふまえ、DX の導入により解決が見込めるとあなたが考えた都市公園の管理・運営・活用に関する課題（ひとつでも複数の課題でも可）を例示しつつ、DX の導入・活用によってどのように課題の解決が可能となるかを説明しなさい。

6. 広場等の造園空間では、舗装が重要な役割を担っている。そこで、あなたが知る舗装方法をひとつ取り上げ、使用材料と施工方法について説明し、他の材料（ひとつでも複数の材料でも可）と比較した場合の長所と短所について述べなさい。

大学院入学試験問題用紙

2023 年度 1 期

科 目 名	受 験 専 攻	受 験 番 号	氏 名
造園植物・植栽学	造園学 専攻 博士前期 課程		

1. あなたが現在取り組んでいる研究で対象とする植物* について、以下の①～⑤を説明してください。補足的に図を用いて説明しても構いません。

- ① 科名、属名、種（または亜種、変種、品種、園芸品種）名
- ② 分布（野生分布が無いものは植栽分布）
- ③ 生育地／好ましいとされる生育環境
- ④ 形態的特徴
- ⑤ 植栽用途／利用

*複数を対象としている場合は代表の一種について取り上げること

2. あなたの身近な緑地から、1 か所具体例を挙げ（対象地域（都道府県、市区町村等）を明記すること）、下記の用語を用いてその場所の概要を説明してください。補足的に図を用いて説明しても構いません。
なお、ここでいう緑地とは、都市緑地法において定義される、「樹林地、草地、水辺地、岩石地若しくはその状況がこれらに類する土地（農地であるものを含む。）が、単独で若しくは一体となつて、又はこれらに隣接している土地が、これらと一体となつて、良好な自然的環境を形成しているもの」とし、保全の対象かどうかは問わないものとします。【用語：地形、利用、植生、優占種、在来種、外来種】

3. 都市公園や緑地の芝生管理技術について以下の用語をすべて用いて説明して下さい。

（用語…目土（目砂）・サッチ(satch)・土壌固結・エアレーション・バーチカルモア・土壌透水性）

4. 都市公園や緑地における植栽土壌の固結状態の診断について(a)～(i)に該当する語句を選択語句から選び、記入して説明文を完成して下さい。

固結した土壌の物理性を把握する方法には、(a) _____ 土壌貫入計や(b) _____ 土壌表面硬度計を用いて土壌固結状態の程度を把握する。また、固結した土壌は透水性が悪化していることが多いため、土壌透水性試験が行われる。試験の結果、土壌透水係数が(c) _____ の場合は透水性良好と判断でき、(d) _____ の場合には透水性が極めて悪化し物理性(硬度)の改良が必要と診断される。また 100cc の採土管により現地の土壌を採土し、(e) _____ 測定法によって(f) _____ を把握することで単位容積当りに占める(g) _____、気相、液相の割合を算出できる。従って固結した土壌の場合は(h) _____ が低く (i) _____ が高い状態が把握できる。

回答

(a). _____ (b). _____ (c). _____ (d). _____ (e). _____ (f). _____
(g) _____ (h) _____ (i) _____

選択語句：

$10^{-2} \sim 10^{-3}$ ・山中式・実容積・固相率・土壌三相・液相率・土壌凝縮・長谷川式・固相・土壌固結相・太田式・気相率・土壌圧縮・ $10^{-6} \sim 10^{-7}$

大学院入学試験問題用紙

2023 年度 2 期

科 目 名	受 験 専 攻	受 験 番 号	氏 名
造園計画・設計学	造園学専攻 博士前期課程		

- 江戸・東京の立地特性を踏まえて「潮（汐）入りの庭」の特徴について述べなさい。
- 景観の 4 類型（シーン景観・シーケンス景観・場の景観・変遷景観）について、時間の長短および視点の状態を踏まえて各景観の特徴を説明せよ。
- 空間情報技術を以下の【 】内より 2 つ選択し、それぞれの技術で造園空間を調査する際の活用方法を具体的に述べよ。【GNSS・GIS・MMS・SfM・ドローン・レーザスキャナ】